

がん患者の目線で 大阪の情報サイト

大阪のがん患者やその家族らが情報サイト「大阪がんええナビ」(<http://www.osaka-ana.vi.jp>)をつくり、1日スタートさせた。身近な情報を自分たちの目線で集めた。どの病院でどんな手術や治療を受けられるかなど、がんの種類別や住所別に情報を検索できる。

(権敬淑)

種類・住所で検索可能

大阪府はがんによる死亡率や検診受診率が全国最悪クラス。地域レベルのがん情報を患者ら自身が発信するサイトは全国的に珍しい。

がん患者の団体や府立成人病センターの専門家らでつくる「大阪がんええナビ制作委員会」が、2年前から取り組んできた。

状態別に有効な情報サイトの一覧を紹介。「調べよう」「知っておこう」など目的別に調べられることもできる。地域のがんの拠点病院の手術件数や得意な治療分野などの一覧を掲載。闘病を支える医療者の声やがんの予防、検診情報も盛り込んだ。今後は、治療を続けながら働き続けるための情報も充実させるといふ。

大阪府でがんで亡くなる人

は年間約2万人。40年前から死因のトップを占める。制作委員会代表の濱本満紀さんは「時間、労力、お金を無駄にせずに、欲しい情報を早く得ることに役立てて欲しい」と話す。